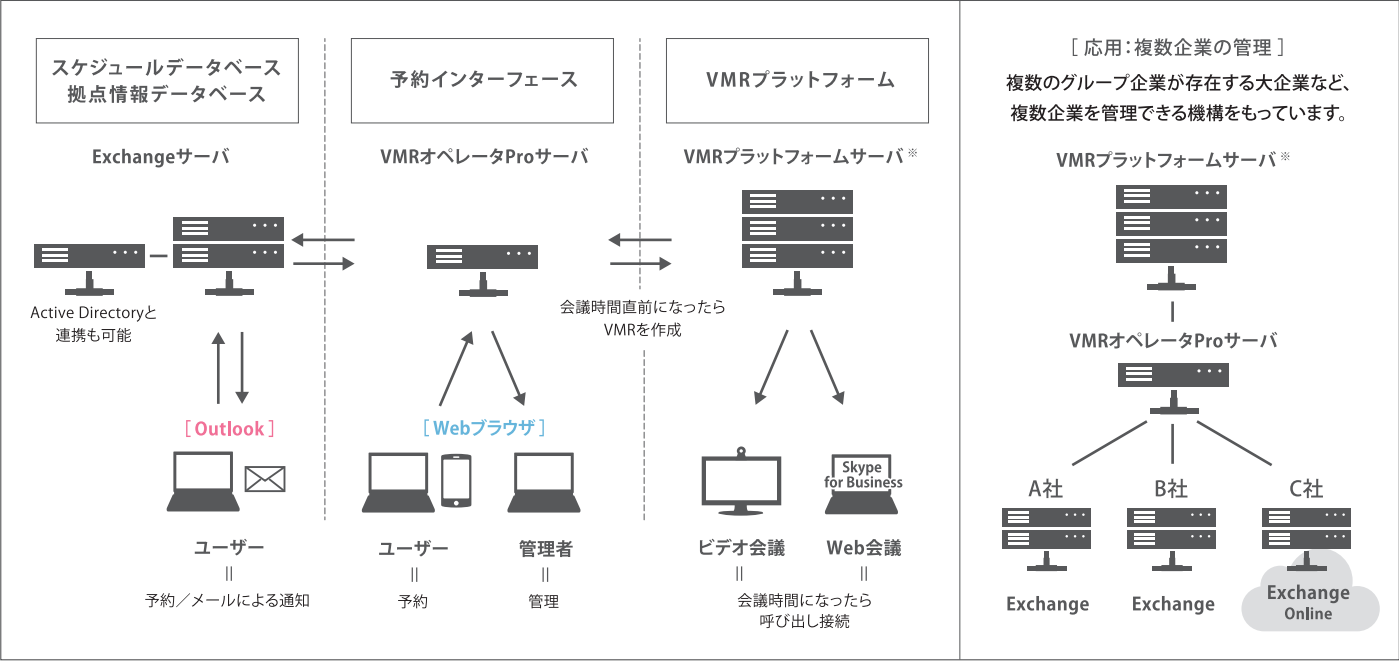




※Pexip Infinityなど、ビデオ会議の多地点接続とゲートウェイ機能を持つインフラ/ソフトウェア/サービスのこと。

VMRオペレータ®Professional動作サーバ要件

OS	Windows Server 2012 スタンダード もしくは R2 スタンダード
CPU	2コア以上
メモリ	4GB以上
ハードディスク	100GB以上

VMRオペレータ®Professional動作確認済みユーザ環境

Webブラウザ	Internet Explorer11 以降、 Google Chrome、Firefox、Safari
Outlook	Outlook 2007 以降 Outlook onlineも動作確認済 (VMRオペレータ®Liteも同様)

簡易版ソフトウェア

VMRオペレータ®Lite

VMRオペレータ®Liteは、誰もが手軽にVMRプラットフォームを使用した多地点ビデオ会議ができるようメディアプラスが無償で提供するビデオ会議運用ツールです。

VMRオペレータ®Liteでできること

- OutlookもしくはGoogleカレンダーを使用して、VMRの作成と関係者への連絡を行うことができます
- 会議ごとにパスワードが自動生成されます
- テレビ会議の参加者、WebRTCの参加者、Skype for Businessの参加者それぞれのアクセス方法が記載されたメールが会議に招集された人に届きます
- Outlookにはアドインをインストールすることで、予定表から会議情報確認も可能です
- Exchangeサーバは必要ありません

アイコンをクリック

■VMRオペレータ®はメディアプラスの登録商標です。
■その他、記載されている会社名、ロゴ、製品名またはサービス名は各社の商標または登録商標です。
■記載されている製品の仕様・機能などは予告なく変更される場合があります。

MEDIA PLUS

株式会社メディアプラス
〒102-0072
東京都千代田区飯田橋3-11-6 清水書院サービス第2ビル 7F
TEL: 03-3237-9003 FAX: 03-3237-9005
<http://www.mediaplus.co.jp>

テレビ会議運用支援ソフトウェア

VMR operator® Professional

[VMRオペレータ®プロフェッショナル]

Microsoft Exchange連携 便利&簡単オペレーション

システムの
秘密

会議予約の
秘密

情報共有の
秘密

自動接続の
秘密



テレビ会議をフル活用できる VMRオペレータ® Professional 4つの秘密

VMRプラットフォーム※の登場により、ビデオ会議システムだけでなく、WebRTCやSkype for Business、VoIPなど多様なツールを交えた高度なビデオ会議のニーズが高まっています。

しかし、「運用方法の不安」「セキュリティの不安」「運用オペレータの不在」などのために、ビデオ会議を十分に活用できていないケースも多いのではないのでしょうか。
メディアプラスは、ビデオ会議のプロとして、すべての企業がビデオ会議をフル活用できるツールを開発しました。

1 システムの 秘密



Exchange連携により 高機能を実現

VMRオペレータProfessional (以下VMRオペレータPro) はデータベースエンジンとしてMicrosoft Exchangeを使用。洗練されたExchangeの機能をビデオ会議の世界にシームレスに統合します。

Exchangeはオンプレミスサーバの他、Exchange Online (Office365) にも対応。現在Exchangeを使っていない企業も管理用の最低限のOnlineアカウントを契約するだけでVMRオペレータProを使用可能です。

Active Directlyと統合

ActiveDirectlyを使用したシングルサインオンやアカウント管理にももちろん対応。1パッケージで企業規模を問わず使用可能なシステムです。

シンプルな設計 柔軟なライセンス体系

VMRオペレータProは仮想サーバ上にシンプルにインストールされ動作します。子会社や関連会社など複数の組織を1つのサーバで管理することも可能です。

サブスクリプション契約により、ご利用のVMRプラットフォームライセンスに合わせて柔軟な契約が可能です。



2 会議予約の 秘密



モバイル対応のレスポンスデザイン。

ユーザを迷わせません

VMRオペレータProはユーザの立場に立って作られています。

親しみやすいデザインのWebインターフェースから会議名称を入力、日時や参加予定者を選択し、招待したい相手を検索/入力するだけで会議予約が完了します。バイリンガル(日・英)及び世界のタイムゾーンに対応しています。

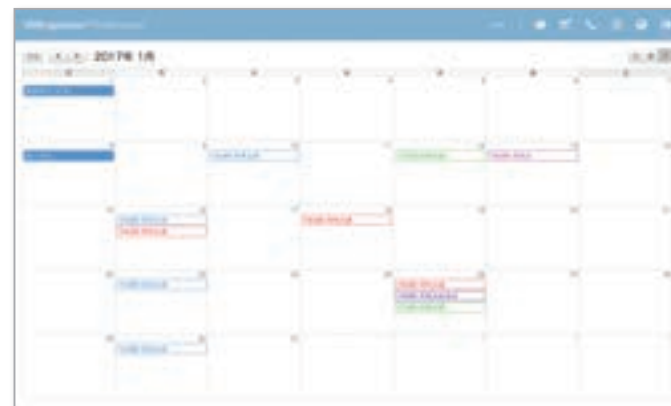
会議予約をもっと楽に

毎月や隔週といったような定期的に行われる会議は一度の予約で設定可能です。また会議テンプレート機能によりさらに会議予約を効率化しました。

仮想会議室を自動作成

VMRオペレータProはユーザが入力した会議情報をもとに、VMRプラットフォーム上に仮想会議室を作成。

会議接続パスワード、及び会議編集パスワードが適用されることでセキュアな会議運用が可能です。



3 情報共有の 秘密



Outlookで予約することも可能です。

招集メール自動送信

ユーザが会議予約を行うと、会議の参加予定者(招待者)宛にメールが送信されます。ビデオ会議に必要な情報が確実に共有されます。メールの文章は管理者が自由にカスタマイズ可能です。

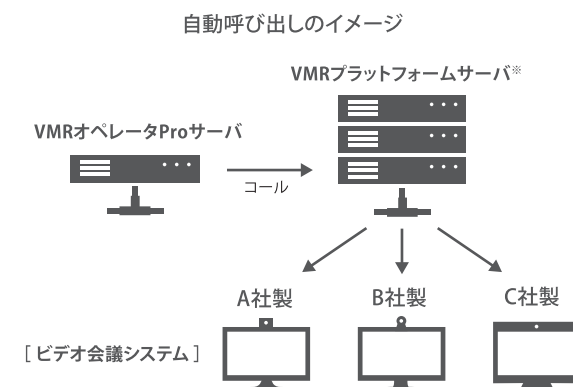
Outlookと同期

VMRオペレータProはOutlookと同期することで、会議情報をOutlookのカレンダー上から確認することが可能です。

Outlookから会議を作成しても、VMRオペレータProに対し同期が行われます。

Webインターフェースから作成した会議情報をあとでOutlookから編集するといったような運用も可能です。

もちろんOutlookはアプリケーションの他、Outlook on the web (Office365) にも対応します。



4 自動接続の 秘密



会議中のミュート操作や切断も可能です。

時間になったら 自動的に呼び出し

会議予約の際に選択されていたビデオ会議システムへは、時間になったらVMRプラットフォームから自動的にコール(発信)が行われます。

参加者は時間に会議室で待機しているだけで、ビデオ会議が始まります。

急な変更にも対応

会議に予定変更はつきものです。会議時間を延長したい、予定より早く特定の参加者だけ切断したい、あるいは予定されていたいなかった相手を電話で呼び出したなど、会議中の「よくある変更」に対応できる機能が搭載されています。

会議のたびにシステム管理者(オペレータ)に頼る必要はもうありません。



※Pexip Infinityなど、ビデオ会議の多地点接続とゲートウェイ機能を持つインフラ/ソフトウェア/サービスのこと。